

# 里山の鳥を撮り続けるおじいちゃん!!

「冬はつとめて」(冬は早朝がよい)と清少納言は言いました。吉岡の地では早朝の雪景色は稀ですが、キリッとした澄んだ冷気の中、夜明け前の東方は、オレンジから水色へのグラデーションを背景に木々や家々のシルエットが漆黒に冴え、影絵のようでとても綺麗です。これも又、「冬はつとめて」です。

さて、夜明け前の早朝、四季を通して、吉野川周辺で写真を撮り続けるおじいちゃんをよく目にします。村岡在住の寺山さんです。

ある朝、写真を見せていただけませんかとお願いと、休日のある日、沢山の写真をリュックに詰めて、歩いて我が家を訪ねてくださいました。お仕事を引退されてから、散歩道の鳥を撮り続けて十数年、御年(おんとし)80超ながら、一日8千歩は歩くそうで、お元気です。お話を伺いながら、我が家の窓越しに見える里山の大木のでっぺんに「〇〇がいる」と教えてくださいました。さすがの眼力だと感心しました。お話ぶりに温和人柄を感じながら、3つの話が印象に残りました。①吉岡には貴重な自然と生き物がいる、とても良いところである。②人間の都合で自然の生き物に接してはいけない。相手を驚かさない、領域を侵さない謙虚な気持ちと行動が大切である。③以前は撮れたのに、最近は逢わない鳥がいる。少しずつこの環境が変わっているのかも知れない。なるほど!地道な継続からのお話、これらの示唆を心に留めておきたいと思いました。沢山の写真とDVDをお借りしました(裏面参照)。より多くの吉岡の地域の皆さん、とりわけ次世代の子ども達が、目にする機会があればよいと思いました。また、後継者ができたとお話しされていました。最近の早朝は、その姿を目にすることが増えました。

里山の12月の活動は、12月8日(日)に行われました。中学校の中庭の銀杏の黄葉が青空に映えてとても綺麗でした。この日は、つつみ造園様の御指導の下、八幡神社北側斜面にヤマツツジの苗木65本を植栽しました。自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、個人ボランティアなど20数名の参加者が、斜面の足場に苦戦しながら汗を流しました。お疲れ様でした。つつみ造園様は、散会后、撒水もしてくださいました。ありがとうございました。

地域の皆様、今年もご理解ご協力ありがとうございました!!よいお年をお迎えください。



青空に映える  
中学校 銀杏の黄葉



写真担当 立正大学生



植栽レクチャー



斜面の足場に苦戦しつつ  
協力して植栽作業



次回活動日(1月は休会)

2月10日(日) 9:00~

焼き芋・里山整備を予定(吉中駐車場集合)

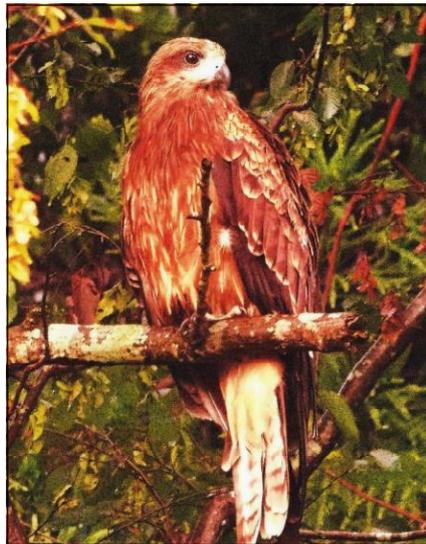
# 散歩道の鳥たち



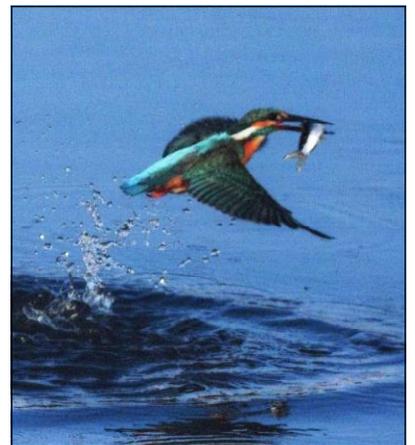
by Mr. Terayama



**トビ(トンビ)** 体長 47~60cm



**カワセミ** 体長 16~20cm



**オオタカ** 体長 50~60cm



**ノスリ** 体長 50cm



**モズ** 体長 19~20cm



**チョウゲンボウ** 体長 32~35cm



**コジュケイ** 体長 27cm



**アオサギ**

体長 88~98cm

※鳥名等は筆者による